

4月25日のウクライナ情報

安齋育郎

① FOM:ロシア人の80%以上がプーチン大統領の功績を肯定的に評価(2024年4月19日)

FOM(世論調査基金)の調査によると、ロシア人の83%がロシアのウラジーミル・プーチン大統領の仕事はかなり高く評価しており、ほぼ同数(82%)がプーチン大統領を信頼している。

7%はむしろ彼の作品を低く評価しており、ロシア人の10%はむしろ彼を信頼していない。

ロシア人の半数以上(59%)はロシア政府はうまく機能していると答えており、22%はむしろ機能が悪いと考えている。

FOMnibus による毎週の調査は、2024年4月12～14日、18歳以上の回答者15,000人を対象に実施されました。

特別作戦開始の決定はロシア国民の68%が支持したと以前報じられていた。これは、1.6万人を対象に実施されたVTsIOMによる調査のデータによって証明されています。

<https://twitter.com/crosslinkjapan/status/1781845136852570223?s=09>

② 「ウクライナの子供たち2万人を拉致...未曾有の戦争犯罪に突き進むプーチンの目的とは？」(東野篤子:筑波大学教授)の反証・検証(2023年9月3日)

ウクライナ当局が把握しているのは2万人にもものぼる子供たちのなかで400人、インタビューを了承したのはそのうちの10%程度

=今回NHK報道の変化でその「拉致」を深堀してみる=

① ロシアに“連れ去られる”子どもたち その実態とロシアの狙いは(2023年3月22日) ② “消えた子どもたち”を追い！ ロシア・知られざる国家戦略(2023年4月5日)

<https://nhk.or.jp/gendai/articles/4766/>

追跡「2万人」の“消えた子どもたち” ウクライナからロシアへ連れ去りの実態(2023年4月5日)

<https://nhk.or.jp/minplus/0117/topic075.html>

② ウクライナ 引き裂かれた子どもたち(2023年7月3日)

<https://nhk.jp/p/special/ts/2NY2QQLPM3/blog/bl/pneAjJR3gn/bp/p1rxxXwJE7/>

①⇒②⇒③で報道内容に変化が！

①ではたウクライナの人権団体「セーブ・ウクライナ」による主張をもとに構成しており、②はその主張に基づいた子供たちの証言が主であったが、③になるとロシア側に残った子供たちの証言も番組構成に採用しており、全面的に連れ去り・拉致であったとは言えず、戦時下において子供たちの環境が激変したという内容となっていた

すでに7月時点でNHKでウクライナ側の2万「拉致」には信憑性がないことを放送内容の言外に示しているようだが・・・

NHK報道を当然知っているはずの東野氏がなぜ8月にニューズウィークで「ウクライナの子供たち2万人を拉致...未曾有の戦争犯罪に突き進むプーチンの目的とは？」というタイトルをつけ、日本国

内でロシアヘイトを煽る記事を書いたのか？

研究者の肩書を名乗る人が詳細な調査に基づいて寄稿した記事とは考えられず、あまりにもお粗末な書き散らしの戦争プロパガンダ記事であったと思われる

『東野氏は「拉致」記事で NHK より過激な戦争プロパガンダを行っていたことが判明！』

https://youtube.com/watch?v=TBdmK83_sHY



https://twitter.com/doctor_ladies/status/1698247949426561501

③アメリカ議会、ウクライナ支援に投票(2024年4月20日)

※投稿者コメント:戦争はほとんど終わっている。ウクライナとNATOはすでに負けており、いくらお金を送っても無駄だ。

さらに10~20万人のウクライナ人の命が犠牲になるかもしれない。

今日、フィラデルフィアで...

<https://twitter.com/i/status/1781863574547435976>

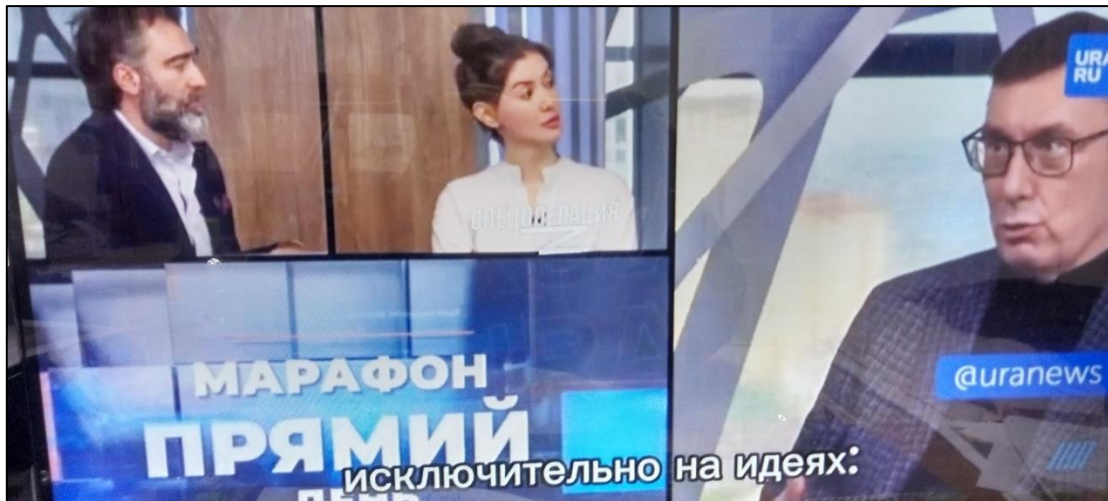


<https://twitter.com/angeloinchina/status/1781863574547435976?s=09>

④ゼレンスキー氏は勝利のための戦略を持たないただ拍手が欲しい芸術家だ。元ウクライナ検事総長(2024年4月21日)

ユーリー・ルツェンコ氏によると、キエフはポピュリズム的な非現実的な考えに基づいて運営されているという。西側諸国の支援がほぼなく、本格的な動員がなければ大きな打撃を受けており、ウクライナの勝利は「依然として疑わしい」。

<https://twitter.com/i/status/1781848339459518582>



<https://twitter.com/Mari21Sofi/status/1781848339459518582>

⑤ゼレンスキー、アメリカに謝意(2024年4月21日)

本日、私たちは長年にわたって闘ってきた米国の援助パッケージに関する待望の決定を受け取りました。そして、非常に重要なことです。最前線の戦士たちも、ロシアのテロに苦しむ都市や村も、それを感じるだろう。

米国下院は本日この法案を採決した。私たちのパッケージをサポートしてくださった皆様に感謝します。これは命を守るためのソリューションです。私は個人的に、マイク・ジョンソン議長と、ウクライナと同じようにロシアの悪が勝利するはずがないと信じているすべてのアメリカ人の心に感謝します。私は、この法案が速やかに米国上院を通過し、バイデン大統領に送られることを期待しています。

私たちは、ロシアが瓦礫の下に埋もれようとしている我が国とその独立、国民、生活様式に対するあらゆる支援の兆候に感謝します。アメリカはこの戦争の初期からそのリーダーシップを発揮してきました。ルールに基づいた国際秩序とすべての国にとっての予測可能性を維持するには、まさにこのタイプのリーダーシップが必要です。

私たちは間違いなくアメリカの援助を利用して両国を強化し、この戦争、プーチンが負けるべき戦争の正当な終結を近づけるだろう。

私たちのウクライナチーム全員と、この結果を近づけるために精力的に働いているすべての人に感謝します。私は、すべての国の代表者、ウクライナへの支援強化に取り組む外交官、すべての市民社会メンバー、ウクライナのために働くすべてのボランティア、そして世界中のウクライナの友人たちに感謝します。私のチームに感謝しています。

ウクライナ人が独立を支持して結集するとき、世界はウクライナの大義を支持して結集します。

<https://twitter.com/i/status/1781763400629964834>



<https://twitter.com/ZelenskyyUa/status/1781763400629964834>

⑥IMF はロシアの資産没収決定についてコメントした(2024年4月21日)

ウクライナに有利なロシアの資産没収の問題は個々の司法管轄区や裁判所によって解決される可能性があるが、世界の通貨システムにとっては大きなリスクがあると IMF は認めた。

※投稿者コメント:こうして世界恐慌への火蓋は切って落とされた。



<https://twitter.com/Reloaded7701/status/1781999067419312385?s=09>

⑦立民・原口一博氏、露国营メディアで「ウクライナ支援の理由ない」「ロシアが悪はあり得ない」(一部既報、産経新聞、2024/2/8)

立憲民主党の原口一博元総務相がロシア国营メディア「スプートニク」のインタビューに応じ、ウクライナ情勢について「日本ファーストで考えたらロシアと敵対する理由はみじんもない。ウクライナを支援する理由もどこにもない。ロシアが悪で、ウクライナが善という考え方は歴史を見てもあり得ない」と持論を述べた。

インタビューは今月5日に行った。原口氏は「ロシアと日本の間は長い友好の歴史がある。この短い時間で反故にしては絶対ならない」と強調した。欧州連合(EU)のウクライナへの支援については「腐敗した政権の、腐敗した官僚や政治家の懐に入っているのではないかと疑問視した。

欧米がウクライナに武器の提供を続けていることに関しては「腐敗した政権に渡せば横流しされるのは歴史の常だ。ウクライナがいかに腐敗し、武器が横流しされているかについて議論は今までのステージとは違う」と指摘し、自身の主張に理解が広がっているとの見方を示した。

さらに「周りは最初はとにかくウクライナが善でロシアが悪だというプロパガンダ(政治宣伝)にのせられた人が多かった」と振り返り、「ウクライナは中国と核協定を結んでいる。中国を仮想敵のようという日本が、中国が核協定を結ぶウクライナにこれほどの支援する理由がどこにあるか」とも語った。

原口氏は、産経新聞の取材にも「ウクライナをこれ以上支援する理由はない。日本第一で考えるべきだ。(ウクライナの民間人の犠牲者に対し)心が痛む。世界は冷徹な考えで動いているのも事実だ」と述べた。

原口氏はウクライナ侵略を続けるロシア側を擁護する主張を繰り返している。昨年9月には在日ウクライナ大使館がX(旧ツイッター)で問題視し、立民の岡田克也幹事長から口頭で注意を受けた。岡田氏は、原口氏の主張について「ウクライナがネオナチ政権であると発言したと誤解されかねないとの指摘もある」としていた。(奥原慎平)



<https://mail.yahoo.co.jp/u/pc/f/message/ADQ8QGQAAUN7ZiWNBQuNCHCk5do>

※安齋注:原口さんにも『ウクライナ戦争論』は送ってありますが、岡田幹事長にめげずに頑張ってください。

〈関連情報〉

<https://twitter.com/shirasaka/status/1755805393383723100?s=09>

ウクライナ戦争について立憲の原口一博氏は重要な視点を投げかける。

前提として戦争は単純な「善悪論」で語れない。

日本ではウ戦争について「先に仕掛けたロシアが悪く、ウクライナ可哀そう論」がまかり通っている。

——しかし、事は子供の喧嘩ではない。

ロシアとの外交が断絶するのは日本にとって(ロシアは隣国だけに)大きなリスクを孕むし、日本がそこまでしてウクライナを支援する義理もないのである。

これには、日本がアメリカの属国であることも大きく関わっている。

⑧「トランプ氏復権に備え、ウクライナ戦争止めよ」元外交官が停戦論(朝日新聞、2024年1月20日)

ウクライナを侵略したロシアを利することなく、長引く戦争をどのように停戦に導くかは、難問です。一方、米大統領選で共和党のトランプ前大統領が勢いを増し、ウクライナへの支援が止まる可能性も出てきました。こうした情勢を踏まえ、安全保障に詳しい元外交官の石井正文さんが、現実的立場からの停戦論を唱えています。この理不尽な戦争を、どう止めますか。

——外交官として米国や北大西洋条約機構(NATO)と関わってきた石井さんがウクライナの停戦論を唱えています。意外でしたが、なぜそう思うのですか。

「ウクライナの戦地で多くの命が失われている状況は、昨今、日本政府が唱えている人間の尊厳にも反しています。これ以上、戦争を続けるのはやり過ぎでしょう。欧米には『支援疲れ』が広がり、米大統領選で共和党のトランプ前大統領は『自分が大統領になればウクライナ戦争を止める』と明言しています」

「トランプ氏が返り咲くかはまだわかりませんが、いずれにせよ欧米の支援が細っていけばウクライナは戦えなくなります。こうした事態を想定し、停戦を模索すべきタイミングです。ロシアが侵略で得をした形にならないような停戦条件を各国が話し合い、共通認識を築くことが必要です」



<https://www.asahi.com/articles/photo/AS20240119001391.html>

⑨ウクライナの、身体障害者と精神障害者男性を徴兵へ(2024年4月9日)

キエフが前線の兵力確保に苦戦する中、この法案は「限定的な兵役に適している」というカテゴリーを廃止する。

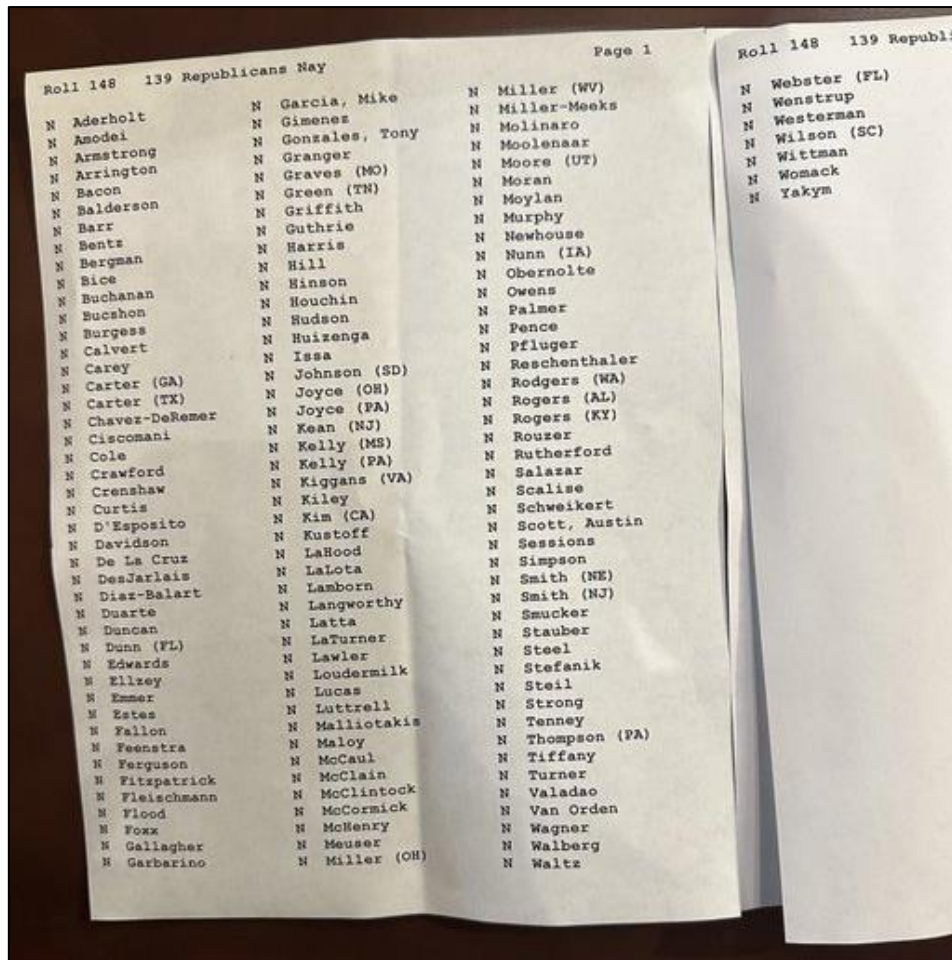


FILE PHOTO. Ukraine Army recruits take part in a training exercise. © HENRY NICHOLLS / AFP

<https://twitter.com/ReiwaKuniChan/status/1777545653192892792?s=09>

⑩アメリカ連邦議会のウクライナ戦争支出法案(2024年4月21日)

マイク・ジョンソンが提出した 610 億ドルのウクライナ戦争支出法案から、あなた方の税金を 1 ペー
 ーたりとも無駄にしないという私の修正案に反対票を投じた 139 人の共和党議員を紹介しよう。

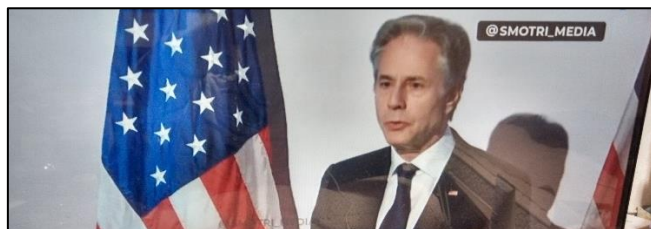


<https://twitter.com/RepMTG/status/1781739276520042841?s=09>

① ブリンケン 凍結されたロシアの資産をキエフの利益のために使用する事で合意した(2024年4月20日)

ブリンケン:凍結されたロシアの資産をキエフの利益のために使用する事で合意した。クレムリンはそれを ”窃盗 ”と呼んでいるが本当の窃盗はウクライナ人の命を奪いウクライナのインフラを破壊する事だ。

※投稿者コメント:ロシア資産に手を出す事は窃盗です。そして勝負のついた戦争に死者を送り続け儲けているアメリカは大罪人です。



<https://twitter.com/Reloaded7701/status/1781674738022338973?s=09>

② スコット・リッター ロシアはウクライナの軍隊を破壊し、NATO は完全崩壊に直面し

ている(2024年4月22日)

NATO にできることは何もない。色々な話がある。

同じ会合で、フランスの外務大臣が、フランスが主導権を握る、レッドラインはない、軍隊を投入できる、と話していましたね。

フランスはそんなことはできない。

ルーマニアでは 700 人規模の大隊規模の部隊を 2000 人規模の旅団規模の部隊に拡大する予定だった。それは来年中に実現するはずだった。それを今夏に実現させるため、急ぐというのだ。

しかし、他の国々が 6 万人規模の陸軍規模の EU グループまたは中核的規模のグループを創設することを約束し、それが現地に入り、NATO 軍に転換できる場合に限られる。それがフランスの計画だ。

ロシアはそんなことはさせない。NATO に決断を迫り、彼らを吹き飛ばし、殺すつもりだ。そして、ドイツは「第 5 条を与えるわけにはいかない」と言い、アメリカも「第 5 条は与えない」と言った。

だからフランスはハツタリをかまされた格好だ。

しかし、フランスはロシアに対してより積極的になる必要性について話しているが、これまで全て口先だけで行動はない。

なぜなら、彼らができることはほとんどない。

戦争とは兵站の問題だ。

ウクライナに上陸した途端、爆撃を受け始めるのに、フランスはどうやって 2,000 人、12,000 人、20,000 人の兵力をウクライナで維持するつもりなのか？

ウクライナには補給基地がない。

ウクライナの外にある補給基地から補給を始めるんだ。そして、その後方支援は作戦支援に変わり、ルーマニアの空軍基地から戦闘機が出撃することになる。

その基地が攻撃され、紛争が拡大する。

つまり、トニー・ブリンケンが言ったことと正反対のことをすればいいという状況だ。

戦略的敗北とはこのようなもので、何も起こらない。



<https://twitter.com/4mYeeFHhA6H1OnF/status/1782229542368874610?s=09>

⑬オルバン氏によれば EU ヨーロッパは現在ウクへの NATO 軍派遣を主張する戦争

賛成派が多数を占めているという(2024年4月20日)

オルバン首相はヨーロッパの指導者達はウクライナに武器を供給しロシアに制裁を課す事で既に紛争に関与していると述べた。

西側諸国がウクライナに兵士を送る一歩手前まで来ている。ブリュッセルは火遊びをしている。やっている事は神へのおちょくりだ、とオルバンは語った。

首相はハンガリーはウクライナ側にもロシア側にもつかないと強調している。

オルバン首相はブリュッセルはその行動によって自由で平和なヨーロッパを脅かしており、EUの指導者は辞任すべきだと考えている。



<https://twitter.com/Reloaded7701/status/1781601065575850242?s=09>

⑭真のアメリカ人(2024年4月21日)

親愛なるプーチン、

この投稿がお元気であることを願っています。アメリカ人の大多数がウクライナへの資金援助を支持していないことをお伝えしたかったのです。

しかし、アメリカ政府やメディアの言うことをすべて信じてしまう人たちもいる。この羊たちは自分の頭で考えることができず、常識も持ち合わせていない。

お願いだから、羊と彼らの行動を私たちのせいにならないでほしい。

署名

真のアメリカ人

午前 3:23 · 2024 年 4 月 21 日 142.4 万件の表示

<https://twitter.com/GuntherEagleman/status/1781750510153818268?s=09>

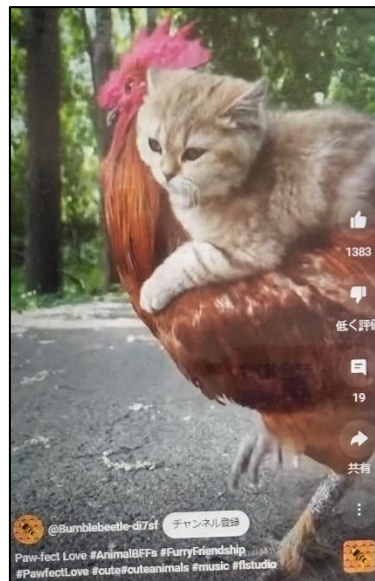
⑮心温まる動物たちの親愛(2024年4月)

”動物の親友同士の純粋な絆を讃える心温まる旅に出よう。Pawfect Love」は単なる歌ではなく、毛皮で覆われた仲間たちが分かち合う無条件の愛と友情への賛辞である。魅惑的なメロディーと

愛らしい映像を通して、最愛の動物の仲間が私たちの生活にもたらす喜び、忠誠心、温かさを体験してください。前足とハートが完璧なハーモニーを奏でる友情の魔法を、この音楽で思い出してほしい。

※安齋注:最初の1本だけで十分でしょう。後の映像まで見ると、時間が不足するでしょう。でも好き好き。

https://www.youtube.com/shorts/-5UmKf_m42w?feature=share



https://www.youtube.com/shorts/-5UmKf_m42w